

2017年11月20日
三菱UFJニコス株式会社

**三菱UFJニコス、ソフトバンク「Pepper」に「J-Mups」を接続
「レジ for Pepper」で電子マネーの取り扱いを開始！**

～導入第一弾はカルビープラス原宿竹下通り店で、12月11日取り扱いスタート～

三菱UFJニコスはこの度、ソフトバンク株式会社が12月4日に小売店等の店舗向けに申し込み受け付けを開始するセルフレジサービス「レジ for Pepper」に、当社のクラウド型マルチ決済システム「J-Mups（ジェイ・マップス）」を接続し、電子マネー決済サービスを実現する仕組みを整えました。

「レジ for Pepper」は、注文の受け付けから決済までを「Pepper」が行えるようにするサービスで、日本語、英語、中国語での接客を可能とし、多彩な決済手段を用意しています。そのうち、当社は電子マネー決済において「J-Mups」による「Pepper」への接続を決めたものです。

「レジ for Pepper」で利用できる電子マネーは、「Suicaなどの交通系IC」「nanaco」「WAON」「iD」「Q UICPay」の5種。なお、「Pepper」と「J-Mups」をWiFiで接続し、電子マネーを読み取るリーダーライターを「Pepper」に備え付けて運用します。

具体的に利用者は、1)店頭で呼び込みを行う「Pepper」の案内に従い胸の位置にあるタブレットで商品を選択、2)リーダーライターに電子マネーをかざして支払いを済ませ、3)打ち出されるレシートをカウンターに持ち込み商品を受け取る仕組みとなっているものです。店舗は接客から受注、決済処理までを人手を介さずに対応できるようになります。

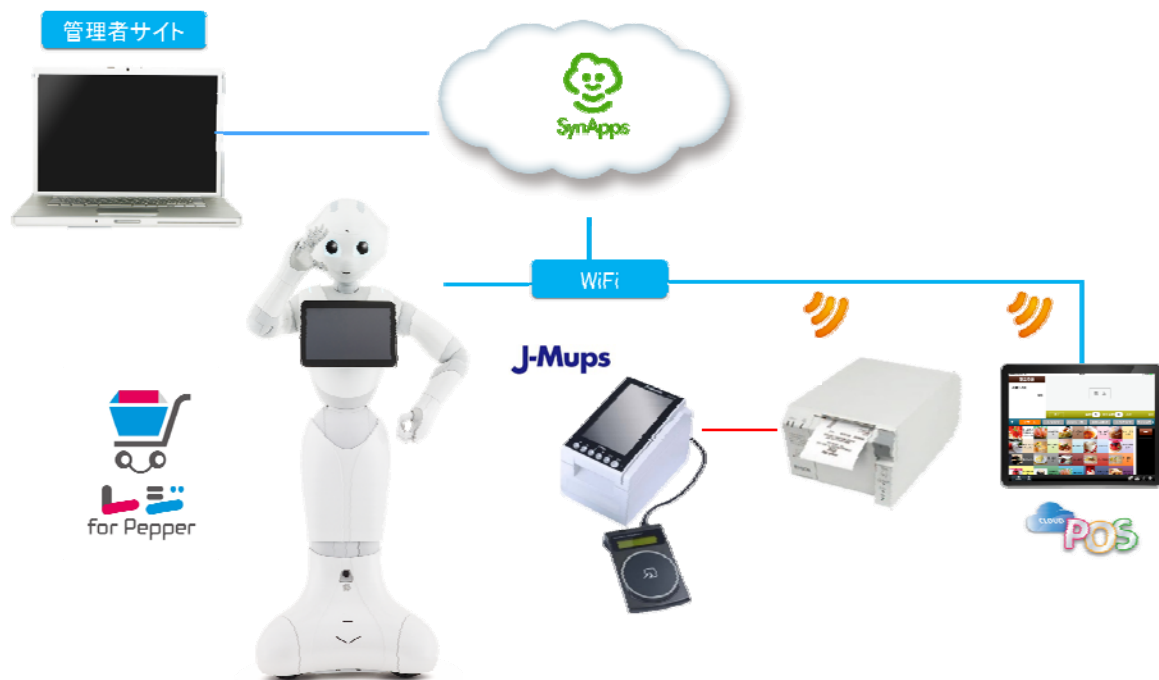
導入第一弾として、カルビープラス原宿竹下通り店（カルビー株式会社直営店）で、12月11日から24日まで期間限定で取り扱います。当社が今回、同店に導入するのは「交通系IC」のみとなります。

なお、「J-Mups」は、三菱UFJニコスとJR東日本メカトロニクス株式会社が平成24年7月に国内初の「クラウド型マルチ決済システム」として開発したものです。高い機能性（拡張性・高速処理）と安全性（PCI DSS準拠認定）を強みにクレジットカード、電子マネー、共通ポイントなどの決済及び各種サービスを処理できるシステムとして導入加盟店を順調に拡大させています。

以上

<参考資料>

■「レジ for Pepper」のシステム構成(電子マネー決済)



■電子マネー決済の流れ



■クラウド型マルチ決済システム「J-Mups」の特徴

- (1) 拡張性: クレジットカード・銀聯カード・J-Debit(ジェイデビット)・各種電子マネーといった様々な決済サービスに対応可能。加盟店独自のポイントプログラムやクーポン等のサービス機能も搭載できる。訪日外国人向けの「外貨建てカード決済サービス」にも対応。
- (2) 低価格: 従来端末に比べ低価格。インターネット回線を利用することで通信コストの削減も実現。
- (3) 高セキュリティ: 端末側にセンシティブ情報を残さない安全性に優れた設計。PCI-DSS準拠認定。
- (4) 高速処理: クレジットカードの処理速度が1~2秒(一般的なアナログ回線の場合10~20秒)

※「Suica」は東日本旅客鉄道の登録商標です。

※「nanaco」は株式会社セブン・カードサービスの登録商標です。

※「WAON」はイオン株式会社の登録商標です。

※「iD」は株式会社 NTT ドコモの商標です。

※「QUICPay」は株式会社ジェーシービーの登録商標です。

以上